

平成 23 年 5 月 27 日

中国陝西煤業化工集団有限責任公司より
炭鉱メタン増進回収の実証支援業務を受託

財団法人 石炭エネルギーセンター

財団法人石炭エネルギーセンター（中垣喜彦会長、JCOAL）は、中国の石炭大手の陝西煤業化工集団有限責任公司（華炜董事長）傘下の彬長集団大佛寺鉱業公司（陳跟馬総経理）より炭鉱メタン増進回収に係る事前評価と実証計画策定のコンサルタント業務を受託しました。

本事業は石炭を採掘する前に、石炭層に含まれるメタンガスを窒素との置換により効率的に回収することで、採炭中のメタンガスによるガス爆発やガス突出による災害を未然に防止するとともに、メタンガスを高濃度で回収することが可能となるため利用しやすくなるメリットがあります。メタンは二酸化炭素の 21 倍の温室効果を有することから CDM 等の排出権のスキームに結び付くことも期待しています。

JCOAL は炭鉱メタン増進回収の実証に向けた計画策定で協力するとともに回収されるメタンの効率的な利用を図るため、三菱重工業(株)のガスエンジンや大阪ガス(株)のガス濃縮技術等、日本企業のメタンガス利用に係るクリーン・コール・テクノロジー (CCT) の導入を実証計画案の中に反映させる予定です。

本事業は JCOAL と中国石炭工業協会(CNCA: China National Coal Association)が進めている低炭素・資源循環型炭鉱地域の形成のための日中協力事業の中で得られた成果の一つです。

以上